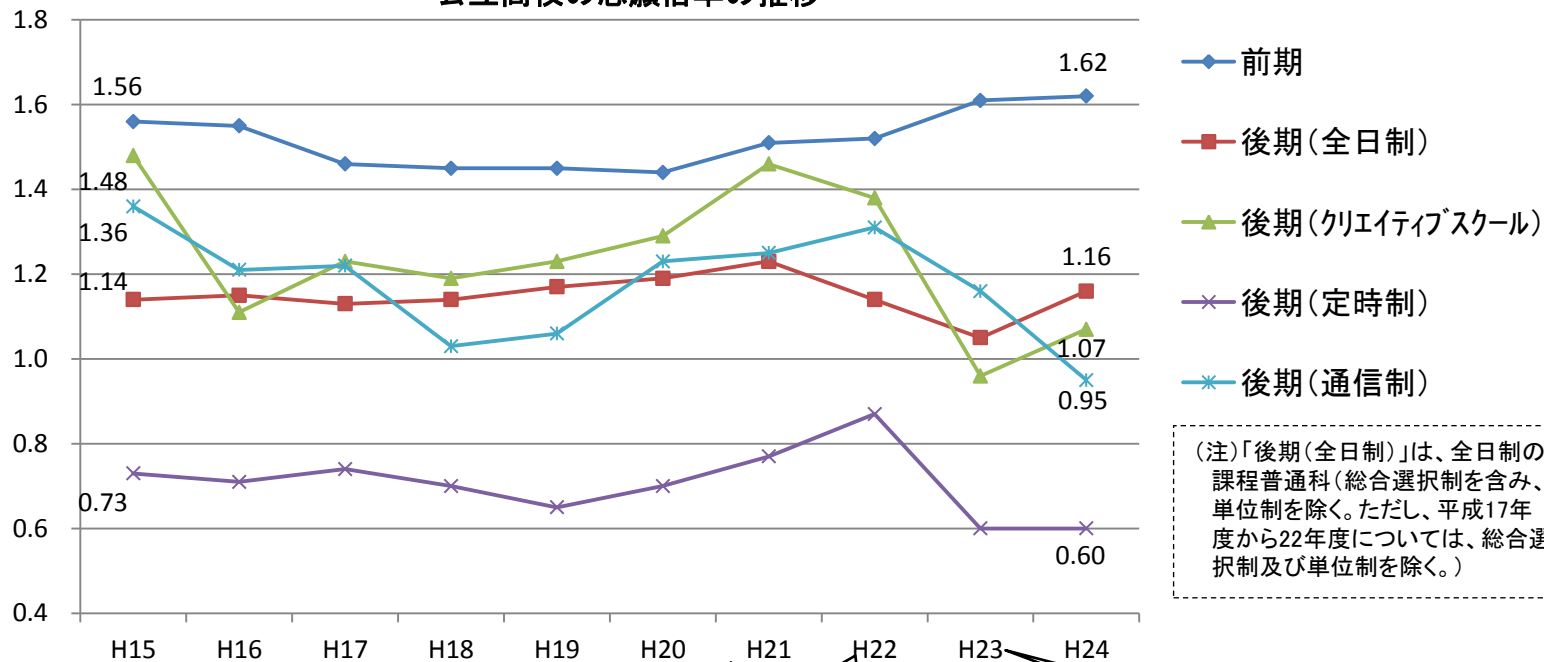


公平でわかりやすい入学者選抜の改善

1. これまでの制度改善等と志願倍率の推移

これまで、前期選抜(特色ある学校・学科)の志願倍率は高水準で推移する一方、後期選抜(普通科(単位制を除く)、クリエイティブスクール及び全日制以外の課程)の志願倍率は経済情勢等の影響を受けて変動。

公立高校の志願倍率の推移



・「前・後期選抜制度」開始

・計画進学率の見直し
92.3% → 93.9%
・普通科総合選択制を前期に移行

リーマンショック

・セーフティネットの観点から、従来の公私比率(7:3)に基づく公立受入数に960人を加えて募集
・公立無償化

・公私比率(7:3)廃止
・普通科総合選択制を後期に移行
・私立無償化の拡充

2. 平成25年度からの制度改善に関して

- 「入学者選抜制度の改善に関する検討会議」からの報告書(平成24年3月)を踏まえ、以下の考え方に基づき、平成25年度からの入学者選抜制度の改善方針を決定

- ・ 公立高校は就学機会の保障という役割を担うことを前提にすること
- ・ 中学校教育に与える影響には十分配慮すること
- ・ 今回の改善は制度に関する当面の課題への対応とすること

※ 多様な選抜方法(推薦入試等)については、引き続き検討

- 平成24年6月15日「平成25年度大阪府公立高等学校入学者選抜方針」等を公表

(主な改善点)

(1) 選抜日程の繰り上げ

- ・ 中学校の卒業式よりも早く後期の学力検査が終えられるよう、選抜日程を繰り上げ

(2) 前期・後期選抜の再編

① 学校選択の機会の公平性を改善

- ・ 後期入学者選抜だけで選抜を実施していた昼間の高校について、募集人員のうち2学級(80名)を前期入学者選抜で分割募集し、前期入学者選抜実施校を拡大(府立桃谷高校は1学級(40名))

② わかりやすい制度

- ・ 前期入学者選抜(2月実施)では、国語・数学・英語の3教科の学力検査に加えて、「小論文」、「情報活用力検査」、「面接」、「実技検査」の特色ある選抜方法を実施
- ・ 後期入学者選抜(3月実施)においては、昼間の高校全校で「5教科の学力検査」を実施

3. 制度改善の周知(主な取組み)

(1) 進学指導に係る説明会の実施(7月上旬 計3回実施)

- 市町村教育委員会の担当者、公立中学校の進路指導担当者等を対象とした説明会を実施

(2) 大阪府公立高校進学フェア(7月29日(日)実施 於「マイドームおおさか」)

- 大阪府内の公立高校が一堂に会し、中学生やその保護者を対象に公立高校の魅力と進路選択の際に必要な情報を提供するイベントとして今年度はじめて開催
- 各学校の進学ガイダンスのほか、イベントステージでは、吹奏楽、ダンスなどの部活動や授業の成果発表、府立高校出身で関西テレビの山本浩之アナウンサーとファッションモデルのアンミカさんによるトークショーを実施
- 入学者選抜制度の説明に関する特設ブースを設けるとともに、ステージイベントとして「入学者選抜制度の説明」を実施(計3回)